

令和 7 年度

特別の教育課程の実施状況及び評価等について

つくばみらい市立伊奈小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

つくばみらい市立伊奈小学校

(2) 特別の教育課程の概要

「グローバル人財」の育成を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、つくばみらい市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との 交流の機会を多く設け、体験的な活動をととして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

つくばみらい市では、保幼小中において連続性のある教育を推進し、市内の民間施設を含む保育所・幼稚園・認定こども園で、A L T との英語での交流機会を設けたり、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたりしている。保幼小中の連携を図るために、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性があり、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

令和 6 年 4 月

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

○計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の勉強は好きですか

	割合 (%)
とても好き	64.5
好き	25.8
ふつう	9.7
あまり好きではない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	74.2
楽しい	25.8
ふつう	0
あまり楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合 (%)
とても話せるようになりたい	90.3
話せるようになりたい	9.7
あまり話せるようになりたくない	0
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合 (%)
とても知りたい	87.1
知りたい	9.7
あまり知りたくない	3.2
知りたくない	0

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の勉強は好きですか

	割合 (%)
とても好き	78.6
好き	21.4
ふつう	0
あまり好きではない	0

② ALT の先生と一緒の活動は楽しいですか。

	割合 (%)
とても楽しい	85.7
楽しい	10.7
ふつう	3.6
あまり楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合 (%)
とても話せるようになりたい	82.1
話せるようになりたい	14.3
あまり話せるようになりたくない	0
話せるようになりたくない	3.6

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合 (%)
とても知りたい	82.1
知りたい	14.3
あまり知りたくない	0
知りたくない	1.7

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組むことは、良いと思いますか。

	割合 (%)
とてもそう思う	73.5
そう思う	23.8
あまりそう思わない	0.7
思わない	2.0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合 (%)
とても楽しみにしている	32.6
楽しみにしている	49.0
あまり楽しみにしていない	14.3
楽しみにしていない	4.1

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合 (%)
とても増えていると思う	38.2
増えていると思う	43.6
あまり増えていると思わない	18.2
思わない	0

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことは、グローバルな視野を身に付けることにつながると思いますか。

	割合 (%)
とてもそう思う	41.2
そう思う	51.0
あまりそう思わない	7.8
思わない	0

⑤ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様にどんな力がついていると思いますか。

	割合 (%)
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度	22.6
英語を聞く力	43.4
英語を話す力	45.3
異文化への理解	45.3
相手に配慮する態度	3.7

(4) 学校関係者（教職員）による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることはよい。

	割合 (%)
大いにあてはまる	78.6
あてはまる	14.3
あてはまらない	7.1
全くあてはまらない	0

② 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えている。

	割合 (%)
大いにあてはまる	71.5
あてはまる	21.4
あてはまらない	7.1
全くあてはまらない	0

4 実施の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・多くの児童が英語学習に興味・関心をもち、楽しみながら取り組む姿が見られ、「英語が好きな児童の育成」に向けた成果が見られる。
- ・英語の遊び歌やリズム遊び、フォニックス等の活動を通して、日本語とは異なる言語に気付き、言語への感性を育んでいる。
- ・外国の行事に関連した活動を通して、異文化への理解を深めている。
- ・ALT との交流を通して、外国語や異文化への抵抗感が軽減され、進んで関わろうとする態度が育まれている。
- ・英語での挨拶や気持ちの表現、曜日や天気など、身近な英語表現の定着が見られる。
- ・発達段階の特性を生かし、意欲的に活動に取り組む中で、3年生以降の外国語活動・外国語科につながる基礎が培われている。

(2) 今後の課題

- ・低学年段階において、英語学習への興味・関心を継続的に高めていく。
- ・家庭との連携を図り、学校での学習の様子を共有するとともに、家庭での声掛け等を通して学びを深めていく。
- ・指導計画や教材教具、国際理解教育の視点を含めた学習環境の充実を図っていく。
- ・児童の個人差や地域性を踏まえ、一人一人に応じた指導の工夫を行っていく。
- ・系統的な指導のためのLESSンプランの作成及び充実を図っていく。